

令和4年度第4回北見方面紋別警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和5年3月9日（木）午後4時00分から午後5時40分まで

2 開催場所

北見方面紋別警察署2階大会議室

3 出席者

(1) 協議会委員 6人（定員7人）

会長	関原功三
委員	井上秀幸
委員	田中誠
委員	鎌田真智子
委員	栞原務緒
委員	桜木恵

(2) 警察署 9人

署長	高畠敏之
副署長	藤井貴雄
会計課長	河原慎二
地域課長	吉田昌光
刑生課長	田口章文
警備課長	瀬戸貴博
交通課長	川嶋久佳
警務課長	小山克行
警務係長	細川惟史

4 会長挨拶

本日は、紋別市周辺でおきたブラックアウト発生時の状況やその安全対策、北海道警察採用試験の受験者募集、犯罪被害者支援の見舞金制度付き条例の制定に向けた活動について説明していただけたということであり、よろしく申し上げます。

5 署長挨拶

昨年末、ここ紋別地区ではクリスマス寒波に見舞われ、紋別市周辺で2度にわたるブラックアウトにより、大停電が発生しました。

この後、この大停電の発生状況や安全対策と、そのほかに北海道警察採用試験の受験者募集について、私から犯罪被害者支援の見舞金制度付き条例の制定に向けた活動についてご説明させていただきますので、委員の方々から、忌憚のない御意見、御質問、御要望をお聞かせください。

6 諮問事項

(1) 昨年末の暴風雪に伴うブラックアウト時の状況と対策

委員～ブラックアウト後に近所のおばあちゃんと話したとき、そのおばあちゃんが、「避難場所もよく分からなかった、電気が使えないから毛布にくるまって過ごした」と話していた。このようにご近所に親族もおらず、電話も使えず、避難先も分からない方はどうすればいいのでしょうか。

署説明～紋別市役所では、広範囲に住宅街を広報車が走行し、災害状況や避難先の案内等をスピーカーで広報しています。

また、電話番号を登録すれば、機械音声で避難先や災害情報を伝えるサービスがあったり、町内会を活用して住民間で声を掛け合うことが重要です。

委員～昔、子供が犯罪に巻き込まれそうになったとき、駆け込むことができる一般住宅に表示されている黄色い表札があったと思いますが、あの表札は警察で配布しているものなのでしょうか。また、あの表札の家に災害時に避難させてもらうこともできるのでしょうか。

署説明～あの表札は、「子供110番の家」という表札で、生活安全課で対象の一般住宅に配布しています。犯罪の危険性のみならず、災害等の緊急時にも避難先として駆け込むことは可能です。

(2) 令和5年度第1回北海道警察採用試験について

委員～警察官採用試験は、具体的にどのような試験でしょうか。

署説明～1次試験は、教養試験が択一式で、A区分が大学卒業程度、B区分が高校卒業程度と言われています。A区分は、論文試験、B区分は作文試験です。その他にも適正検査がおこなわれます。2次試験は、面接試験と体力試験です。

(3) 令和4年中の紋別地区被害者支援連絡協議会の取組結果について

委員～寄附型自動販売機とは、どのような施策なのか。

署説明～売り上げの一部を民間の支援団体等に寄附することができる自動販売機です。寄附額は、売り上げに応じて変わりますが、一般的に売り上げの1%から任意に設定することになります。

当署管内では、オホーツク紋別空港や株式会社交通学園紋別自動車学校等に設置されている自動販売機を寄附型自動販売機に切り替えてもらいました。

委員～ホンデリングとは、どのような施策なのか。

署説明～不要な本やDVD等を査定業者に送って、査定してもらい、その買取り相当額を全国被害者支援ネットワークを通じて、全国各地の支援センターに寄附してもらう施策です。

(4) 犯罪被害者支援の見舞金制度付き条例の制定に向けた活動について

質疑なし

- 7 次回の開催予定
令和5年6月頃